

【学校教育目標】	《重点努力目標》
持続可能な社会を担う 柔軟で心強き 生徒の育成	基礎的・基本的な学習内容の定着を図り、学力の向上に努める



【研究主題】
ＩＣＴ機器を活用した学力の定着と向上を目指して～特別支援教育への理解と家庭学習の充実～
《研究で目指す生徒の姿》
自分の力を自覚し、自ら学び、やる気あふれる生徒



【具体的な取組と目標】	
今年度も継続して取り組む事項	今年度全校で重点的に取り組む事項
【昨年度からの継続テーマ】 ・前時または本時の学習内容の定着を図るために、確認テストの随時実施 ・各学年による計画的、継続的な家庭学習の実践 ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業改善 【長崎県授業改善メソッド】 ・『めあて』と『まとめ』を意識した授業実践 ・「めあて（課題）」と「まとめ」が子どもに届く授業 【三和中生徒会の取組】 ・3分前着席、2分前黙想、1分間復習の徹底	①ICT機器の活用 ・タブレット端末を活用したわかる授業の実践、実践事例のまとめ ・情報関係の校務分掌の整備、仕分け ・C4thの活用（マニュアルづくり） ②特別支援教育の充実 ・特別支援教育への理解力向上、研修会の実施 ・手立て、支援の方法の検討（合理的配慮、教室掲示の統一等） ・わかる授業づくり ③家庭学習の充実 ・生徒会とのタイアップ ・学校全体での方針の統一 ・学校外での平日の家庭学習時間1時間以上を80％達成に向けての取組 ・タブレット端末の活用（①と連携） ④その他 ・公開授業：経年研修等での研究授業を中心に実施

学力調査(全国・県・市)の結果等から、本校生徒に「身に付けさせたい力」及び「対策」		
国語（林・田浦・河原）	社会（竹田・川口）	数学（篠原圭・松本）
（身に付けさせたい力） ○学習の基礎基本となる漢字や語彙の知識 ○相手や場合に応じて的確に考えを伝えることができる力（話す力・書く力） ○文章を正確に読み取る力	（身に付けさせたい力） ○持続可能な社会の実現に向けた課題に対して当事者意識をもち、その解決に向けて具体的に考える力 ○自分と異なる意見を尊重し、多角的な見方ができる力 ○知識を定着させるとともに、自らのことばで表現し、社会参画へ生かそうとする態度	（身に付けさせたい力） ○数学用語に関する知識・理解 ○計算等の基礎基本に関する力 ○数学の課題について、周囲と議論する力
（対策） ○補助発問やヒントの提示 ○指示の視覚化 ○教材を精選し「話す」「書く」場を設定 ○小テストや Qubena 等を活用した反復学習（Qubena は主に文法、古典で活用） ○「話す」「書く」の自己評価と相互評価の実施（ICT 機器・評価表の活用）	（対策） ○「問い」を学級全員で共有 例「北海道民は生活するのに困難な自然環境とどのように向き合ってきたのか。」「日本が第二次世界大戦に参戦してしまったのはなぜか。」 ○1つの授業で最低でも2回の「対話的な学び」を行う場面の設定 ○ICT の活用を通して「個別最適な学び」を具現化（調べ学習・プレゼン作成・Qubena 等）	（対策） ○問題演習や章ごとの確認時などの Qubena の積極的な活用する。 ○発表時や話し合い時に数学用語をできるだけ使うようにさせる。 ○根拠を明確にしながら、自分の考えを伝えあう機会を章ごとに1回は設定する。
理科（原田・山本）	音楽（篠原昂）	美術（中右）
（身に付けさせたい力） ○興味を持って学習する力 ○科学的思考力・問題解決能力 ○実験・観察の技能	（身に付けさせたい力） ○音符や休符など、楽譜などに関する基礎的な知識を身に付け音楽活動の中で主体的に活用する力 ○音楽を批評する活動から自他の違いを理解する力	（身に付けさせたい力） ○自分の考えや思いを色や形に表現する力 ○目にしたものの色や形から、美的要素や美の秩序を感じ取る力 ○美術のよさや楽しさを感じ取る豊かな感性
（対策） ○生徒に身近な題材を用いた、疑問を抱かせやすい導入 ○実験・観察において、自ら予想・考察する場面、周りの生徒と議論する場面の設定 ○見方・考え方カードの活用	（対策） ○リズム聴取の学習活動を設定し、期末テストで形成的評価を行う。 ○音楽活動の際に、身に付けた読譜の力を活用する場面を設定する。 ○合唱の改善点を検討したり、鑑賞の楽曲理解をしたりする場面で意見を交換する活動を設定する。	（対策） ○彩色の技能などの基礎的な表現技能を確実に習得させる。 ○表現と鑑賞の学習をバランスよく配置し、感じることに表現することを効果的に連携させた学習を進める。 ○作品制作を通して根気強さや集中力、達成感や他者へ共感する心を養う。
保健体育（松村・元村）	技術・家庭（三浦・若杉）	英語（竹永・山口）
（身に付けさせたい力） ○技能の習得に向けて自ら考え行動する力 ○技能の習得方法を試行し計画する力 ○「する・見る・支える」を通して運動に親しむ力	（身に付けさせたい力） ○基礎的な知識及び技能、また自身の取組を評価、選択、管理・運用、改良できる力 ○より良い生活の実現に向けて、工夫し創造できる実践的な態度	（身に付けさせたい力） ○学習の基礎基本となる語彙力 ○英語の基本的な文法を理解し、簡単な語句や文を用いて表現する力
（対策） ○「できた」喜びを大切に、達成感を感じる授業づくりを行う。 ○1年で計画し体力向上を「見える化」して実施する。 ○協働学習に力を入れ、「する」の他の関わり方を学び、学習に取り入れる。	（対策） ○単元のまとめで、振り返らせ確実な定着を図る。 ○授業では、より良い生活を営むために学習の見通しをもたせる。 ○ICT を活用し視覚的にわかりやすい授業実践を行い、1人1台端末の活用を通して協働的な学びを推進する。	（対策） ○小テストを定期的実施し、基礎・基本の定着を図る。 ○英語学習アプリ「Terra Talk」を宿題などで活用し、英語力向上を図る。